

平成 28 年度 第 3 回碧南市図書館協議会 会議録

1. 日 時

平成 29 年 3 月 15 日（水）午前 10 時～午前 11 時 30 分

2. 場 所

碧南市民図書館 2 階会議室

3. 出席者

- (1) 出席者 水野利亮、宮本美枝子、石川和昌、杉浦あさの、奥谷正治、
油谷修子、杉浦正勝、神谷猛、神谷俊幸、石川まさ恵、
- (2) 事務局職員 教育長 高松透、教育部長 鈴木重幸
文化創造課長 村松幸雄、市民図書館副館長 関由香、
南部分館長 大橋幹広、中部分館長 長谷川有里、

4. 傍聴者 0 名

5. 協議会内容

市民憲章唱和

- (1) 会長あいさつ
- (2) 教育長あいさつ
- (3) 議事内容

① 平成 28 年度図書館事業実績（中間報告）について

ア. 貸出冊数、利用者数、入館者数の報告

資料は今年度 4 月から 1 月までの統計で、一番右の列に各項目の合計がまとめてある。「貸出冊数」は、本館では前年比、－ 5 %、約 18,000 冊の減、南部分館では－9.6%、6,700 冊の減、中部分館では－9.5%、8,000 冊の減、公民館を含めた全館合計で、－6.4%、32,000 冊の減少となっている。

続いて「利用者数」だが、1 月までの合計で 103,729 人、全館で前年度対比で－6.9%、7,700 人の減となっている。

最後に「入館者数」だが、入館者数は各館出入口に設置してある入館者カウンターでカウントをしており、こちらも各館とも減少となっている。全体で、昨年度対比で－3.7%、9,516 人の減で 251,092 人の方が入館されている。全館の合計を見ると、どの項目も昨年度に比べて減少となっている。ここ数年は、貸出数や利用数が残念ながら伸びていないが、この傾向は全国的な傾向のようだ。当館では、ここ数年は新規資料の購入数が減っている。

また、人気のある資料は何十人という順番待ちになっている。このような状況の中、本の表紙見せ、特集コーナーを作って今ある本を有効に活用するなどを行っている。また、いろいろな行事を行うことで、気軽に足を

運べる図書館“そこへ行くのが楽しくなる図書館”をこれからも目指して
いきたいと思っている。

イ. 各館の事業実績の報告

来年度の図書館協議会第1回目で平成28年度の事業説明をまとめて行う
ため、ここでは特にお知らせしたい行事を報告したい。

〔本館〕

11月に碧南市で「全国醤油サミット」が開催されたのに伴い、図書館で
も関係事業を行った。「白しょうゆ工場見学」では、ヤマシン醸造、日東醸
造、七福醸造の3社のご協力のもと、1社1回ずつ開催し、あわせて74人
の参加者があった。地元特有の産業であり、子どもたちも親も興味を持っ
てもらえた様子であった。「やってみよう調べ学習」では特別テーマを「白
しょうゆ」とし、関連資料を並べた。「白しょうゆクイズラリー」は3社か
ら賞品を出していただき、全問正解の子に抽選で賞品を出した。

また、「秋のへきにやごまつり」では「白しょうゆをつくってみよう」と
いうことで、日東醸造社長の蜷川氏を講師として招いた。職員も作り、11
月に仕込んで、ちょうど2月末に香り高い白しょうゆが出来上がった。

次に、今年度も友の会と共催で「音楽と朗読の夕べ」を行った。今年は
和泉麻里さん演奏のマリンバを始めボランティアグループ「かざぐるま」
「夢クラブ」のおはなしで大盛況であった。友の会は2月に「リサイクル
本バザー」も行っているが、1月末での報告なので、来年度第1回目で改
めて報告させていただく。

講座では、「おはなしボランティア養成講座」の他、障がい者サービスの
一環で「デイジー図書製作講座」を行った。活字で読むことが困難な方に、
活字資料を音声訳し、カセットテープやCDで提供するのだが、その作成
規格に「デイジー」という全国共通の規格がある。その規格に沿った音声
訳資料を作成するための技術を学ぶ講座。

〔南部分館〕

南部プラザにアリーナや会議室があるため、その特徴を生かした行事
を行っている。6月の「アリーナで紙ひこうきをとばそう」、8月の「こ
わいかな？こわくない？おばけのおはなし会」、11月の「アリーナでくる
くるたこをつくろう」の3回がアリーナ利用の行事。小さい子どもは広
いアリーナを非常に喜ぶ。11月の「アリーナでくるくるたこをつくろう」
は予想人数よりたくさんの参加があった。またアリーナの存在を周知す
ることになり、将来的にはアリーナの利用にもつながっていくと考えて

いる。

ただ、楽しい行事を行い参加者も多いのだが、そのまま帰られる方も多く、これをいかに図書館での貸出につなげるかが課題だと考えている。

〔中部分館〕

毎月行っている定例的な行事を変わりなく行ったが「絵本の時間」や「おひざにだっこのおはなし会」など未就園児向けの行事の参加人数が特に減少した。南部分館同様、中庭があるため中庭を利用した「なりきりおはなし会」を行ったが参加人数は少なめだった。中庭を利用する行事は続けて行きたいが、外のため天気に左右されるのが難しい。6月には「ケロケロがえるをつくろう」を行った。申込みを不要とし、来館した子に自由に工作をしてもらった。午前中は参加者が1人しかおらず、午後から18人の参加があった。今まで行事は午前中の方が良いと思っていたのだが、時期によっては違うということがわかった。

【質疑応答】

- | | |
|-----|---|
| A委員 | 中部分館の行事参加者減少の具体的な数字は？ |
| 事務局 | 昨年度同月比で「おはなし会」が43人の減、「おひざにだっこ0～1才向け」で72人の減、「おひざにだっこ2才以上向け」で46人の減となっている。 |
| A委員 | 学校から地区へ出かけることがあるが、親が待ち時間にスマホを見ている。他のイベントでも参加率が下がっている。親子の生活スタイルが変化しているのを感じる。経年データを持っているが活用してもらいたい。 |
| B委員 | 「雑誌の無料配布」は各館でやっているようだが、「雑誌の付録の抽選会」は分館では行っていないのか？ |
| 事務局 | 全館で行っている。南部分館は4pの「へきにゃごまつり」の中に記載、中部分館は「夏休み行事」の中に記載している。 |
| A委員 | 本館の夜間が増えているように覆うが、南部分館は開館時間は何時までか？ |
| 事務局 | 分館部分は9時～17時だが、南部市民プラザは9時～21時まで開館している。 |
| A委員 | 自宅の近くに安城市のマーメイドパレスがあるが、図書室も有りとても充実しており、21時まで開館している。貸出状況はわからないが夜間のニーズは多いと思う。費用対効果もあ |

	るが、学生の勉強スペースとしても利用されるので夜間開館を検討してほしい。
事務局	夜間延長についてはご要望が多いがやはり費用対効果が問題となってくる。また、入館者も 18 時以降は少なくなってくる。中高生の勉強スペースという観点でも帰り道が暗いと心配な面もある。岡崎市の図書館では、21 時まで開館しているが、やはり 19 時以降の入館者は少ないそうだ。碧南市でも夜間開館が望ましいかどうかいろいろな観点から考えていきたい。
A 委員	岡崎は自分もよく行く。調べ物やコピーなどで利用している。また大学生も多く、イベント等とジョイントしている。規模も大きいが、夜の時間は良いと思うので考えてほしい。
C 委員	話題の本や人気本は待たせてしまうとのことだが、何か対策をしているのか？
事務局	資料費には限りがあるので、同じ資料を何冊も買うことができない。予約が何十件と入っても、本館、分館各 1 冊、公民館用 1 冊の 4 冊以上は購入しないと決めている。しかし、タイトルによっては本人が忘れたところにご提供、ということになってしまうため、予約が多い資料は市民の方から寄付を募っている。 入口に掲示したり、ホームページ上でお願いしたりしている。又吉直樹の『火花』も寄付していただいたものが多く、予約者に提供できるのが早まった。
D 委員	利用者は 6.9%の減だが、入館者は 3.7%の減。利用者に比べ入館者は減っていない。高齢者の閉じこもり防止等を含め、貸出はしないが施設を利用する人はいる。全体的にはマスメディアの影響もあり館外貸出は減っていくと思う。施設で人気のあるイベントを行い、入りやすい、行ってみたい、という図書館を作ってもらいたい。
A 委員	少子化と高齢化社会の進展で移動弱者という観点からはどうか？くるくるバスで来館する利用者の動向をつかんでいるか？
事務局	ほとんどの利用者は自動車で来館している。移動弱者は大きな問題だと思っている。今年度 4 月に障害者差別解消法が施行されたのに伴い、郵送で資料を送るサービスの PR を行った。新しくこのサービスを利用される方もいた。これからも状況に応じてサービスを考えていきたい。

E 委員	市民病院に図書室はあるのか？市民図書館は何か関わっているのか？
事務局	病院の図書室が1階 ATM コーナーの近くに有り、子どもの本を少し持っていつている。病院所蔵の本もあり、図書館の本の管理にも手間がかかるため、病院の本を補う形で行っている。 また、新生児の保護者向けに「みなみルーム」訪問を行っている。図書館の職員が絵本の読み聞かせ方や選び方などをお話ししている。よりよい連携ができるよう、これからも探っていきたい。
E 委員	名古屋の病院でボランティア団体が運営しているのだが、子どもが長期入院した際に重宝したので言わせてもらった。 それから、図書館の協議会委員になってから、インターネットで資料予約ができることを知ったのだが、あまり市民に浸透していないのでは。みんなに浸透すれば利用者数も増えるのではないか。
事務局	広報などでもなるべく周知し、せっかく来たのに資料が無く、足が遠のかないようにしたい。
会長	この図書館には食事ができる場所があり、出来た時には発想の転換でこういうものができたと思った。夜間開館やインターネットの利用など色々な意見が出たが、世の中に対応できる発想の転換がこれからは必要だと思う。

② 『碧南市の図書館サービス計画（第二次）』の承認について

今年度、碧南市民図書館では館内アンケートや郵送アンケートを実施し、また各種データで利用状況を分析し、「図書館サービス計画（第二次）」の作成を進めてきた。11月4日に行った第2回目の図書館協議会で皆様に「素案」を見ていただき、その後、総務文教部会で素案を報告した。

その際「子どもの意見を聞く場を作る必要があるのでは」「若者を来館させるために魅力的なイベントを行うべき」などの意見を頂戴した。

その後、平成28年12月16日～平成29年1月17日で行ったパブリックコメントを通して、市民の皆様のご意見を募集したが、残念ながらご意見は0件だった。

今回の素案の最終版では、11月に見ていただいたものと大筋では変更はない。若干、語句の間違いの訂正や、より一層伝わりやすくするために軽微な表現変更などを行った。今回の第3回図書館協議会でご承認をいただき、完成とさ

せていただきたい。

【質疑応答】

- | | |
|------|--|
| F 委員 | 雑誌の無料配布を行っているが、サービス計画では愛知県のラストワンプロジェクトが記載されているが、これに雑誌は含まれているのか？ |
| 事務局 | ラストワンに雑誌は含まれていない。当館では「暮らしの手帖」や「中央公論」などを永年保存としている。また、愛知県図書館が県内公共図書館がどの雑誌を何年分所蔵しているかをとりまとめており、活用している。 |
| B 委員 | 中間報告と「サービス計画」の数字が違う箇所があるがどうか？ |
| 事務局 | 中間報告は1月末までの数値、サービス計画は3月末までの数値で記載されているため違いがある。 |
| B 委員 | アンケートの内容だが、5択のことが多い。自由に意見を書く欄があるとよい。不満なども書けるとよい。少ない意見でもそういったものは貴重だと思う。問題点があらわになる。 |
| 事務局 | 何か意見がある方のために、最後に自由意見の欄を設けてあるそれを49pにまとめている。このような意見が貴重だ。 |
| B 委員 | お客さんの要望は大事。一人や二人でも大勢の人を代表しての意見と捉えて対応してもらいたい。 |
| 会 長 | 5択のアンケートは傾向を見るためだと思うが、ほとんど満足になってしまう。細かい意見は一つ一つきちんと事務局で見てほしい。ただ、図書館は利用してほしい施設で、高齢者にも来てもらいたい。「おしゃべり」「いびき」など高齢者の問題らしきものもある。こういった問題も踏まえ事務局によりよい案を作ってもらいたい。 |
| F 委員 | 27p だが、時間帯別棒グラフが除かれているがどうか？利用状況がよくわかるのであった方がよいのでは。 |
| 事務局 | 数値が挙げてあるので割愛したが、復活する。 |
| F 委員 | 24 p の表の「碧南市の外国人在住者の公用言語」だが「中国」ではなく言語なので「中国語」ではないか。 |
| 事務局 | 「中国語」に訂正する。 |
| D 委員 | 持論だが図書館は勉強するために行く場所ではなく本を読む借りる場所だとよく言われているが、世代によって利用 |

の仕方が違う。小さいときはお母さんと一緒に来て本を借り、中高生では勉強しに図書館を利用する。次の世代になった時に図書館に戻ってくる可能性がある。学習の場は残してあげ、碧南に住んでいる限り、一生「いろんな形で図書館を利用した」と実感できるとよい。自分も高校の時は勉強の場として使用していた。「そこに行くのが楽しくなる図書館」という通り世代世代で利用しやすい図書館ということを常に考えてほしい。

G 委員 園児やお母さんはあまり図書館を利用していないのでは。「あいくる」や「ららくる」では飲食もいいしおしゃべりも大丈夫なためそちらを利用して図書館には来ないのでは。小さいうちに図書館に来ないと、大きくなっても来ないのでは。「あいくる」などで宣伝してはどうか？マナーが厳しすぎるのでは。

事務局 お互いにチラシなどを置いている。児童センターなどは、子どもたちが体を動かせ、遊べるのを目的に作られた施設。図書館はおはなしを楽しむための施設。また園から図書館に来ておはなし会を楽しむこともある。「あいくる」などと同じ施設を目指すのではなく、目的に応じて住み分けができればいいと考えている。小さい子どもにおはなしや読書の楽しさを伝えていきたい。

D 委員 この計画は 10 年間のもので、10 年たつと世の中は随分変わる。職員が状況をみながら見直しを図っていてもらいたい。変化に柔軟に対応することが大切。

A 委員 16p の「パスファインダー」の作成状況について教えてほしい。

事務局 まだ作成途中。準備を始めている。「パスファインダー」は、テーマに沿った資料案内で紙資料だけでなく総合的に情報を案内できるよう 1 枚の紙にまとめたもの。情報を集積しないとまとめられない。現在は集積中。

A 委員 碧南市にゆかりのある人物や地域に関係するものも作っていくのか？

事務局 その予定。現在は、碧南市に関係した人がどの資料に記載されているかをリスト化している。そういったものにインターネット情報等を含めてパスファインダー化していく予定。市史資料調査室や文化財課とも連携していきたい。資

	料の新刊はなかなか出版されない。古本市場をチェックして購入をしている。
H 委員	孫に読み聞かせをしたり、おはなし会のボランティアとして図書館を利用してきた。子どもが小さく、あまり外に出かけられない若い世代の親たちに図書館が利用できることを PR するとよい。
事務局	一層努力する。
I 委員	文化財の委員と情報のやりとりはあるのか？
事務局	市史資料調査室の先生方とはやりとりしている。
I 委員	文化財の活動をしている方はたくさんいる。歴史を勉強している人が作った資料はどうしているのか？
事務局	寄贈していただいたものは郷土資料として登録し保存している。網羅的に声をかけているわけではない。
会長	自費出版の補助はしているか？
事務局	現在は行っていない。
F 委員	28p に防災関係がのっているが、防災訓練はどうしているのか。
事務局	避難訓練は年 1 回行っている。その際消火設備の取り扱い訓練も行った。利用者を含めた避難訓練、誘導訓練ができると良いが、図書館だと利用者のメリットがないため難しいが検討していきたい。
F 委員	公的な場は市民を助ける場であるし、貴重な資料も守って欲しい。是非、具体的に訓練してほしい。

③ その他

駐車場の新設について説明。